

# JRA 日本中央競馬会

## 京都競馬場整備将来構想

日本中央競馬会

## 1. 背景

- 京都競馬場は、明治 41 年に島原競馬場で近代競馬が開催されたのを発端とし、その後、丹波町須知（しゅうち）への移転を経て、大正 14 年に、現在地に開設され、本年まで順調に発展してまいりました。
- この間、幾度かのスタンド改築を経たものの、グランドスワンについては昭和 55 年の竣工以来 38 年が経過し、ご利用いただくお客様のニーズに必ずしも合致しなくなってまいりました。
- そこで、京都競馬場開設 100 周年を迎える 2025 年の記念事業の一環として、今後も将来にわたり、地域とも調和した、快適で魅力的な競馬場施設であり続けるために、社会や時代に即したスタンドの改築・改修をはじめ、馬場、厩舎を含めた施設全体の一体的な再整備を構想・検討しているところでございます。

## 2. 基本方針

- 京都競馬場は、伝統ある競馬の舞台としての歴史を未来に繋ぐべく、引き続き競馬の公正性が確保される施設、多様なお客様が安心して集える娯楽レクリエーション施設を目指して整備することが責務であると考えます。
- また、災害時には施設を近隣住民の避難場所として提供する一方、日頃から、市民に乗馬の機会や緑あふれる広場、野球場等娯楽施設を供与するなど、地域の安心安全で豊かな生活の一翼を担えるような競馬場づくりを今後も引き続き実践してまいります。
- さらに、競馬場の発展は地域とともにあるべきとの考えから、京都市の実施する道路整備や学校整備にも引き続き協力することで、京都市の政策に貢献してまいります。

### 3. 施設整備構想

#### (1) ゾーニング

- ・ 京都競馬場の敷地を **A 地区**（4 エリア）と **B 地区**に分け、以下のエリアごとの方針に沿って、適切な機能配置、土地利用を図ります。

#### A 地区

##### ① スタンド・お客様エリア

公正な競馬の施行に必要な審判機能を確保するための高さを備える。

また、周辺に対する圧迫感を低減させるべく、敷地境界から十分な距離を確保したうえで、必要機能を集約させ大勢のお客様を安全かつ快適に受け入れられる十分な規模でスタンドを整備する。

##### ② 馬場エリア

コースの中心にあるかつての巨椋池の一部とされる池や、宇治川河川敷に接する豊かな自然環境を保持する。

競馬機能の中心を担う競馬のためのコースとそれに必要な建物群を整備する。

周辺環境に配慮し緑化に努める。

##### ③ 厩舎・業務エリア

競馬に出走する競走馬を収容管理する厩舎地区を中心に、その他競馬に関わる業務を合理的、機能的に行うための諸施設を整備する。

##### ④ 広場・緑地エリア

競馬開催日及び場外発売日とその前日を除き、近隣住民の憩いの場として開放されるエリアとして整備する。

一部構内道路は、近隣住民に開放され日々の散歩等の利用に供する。

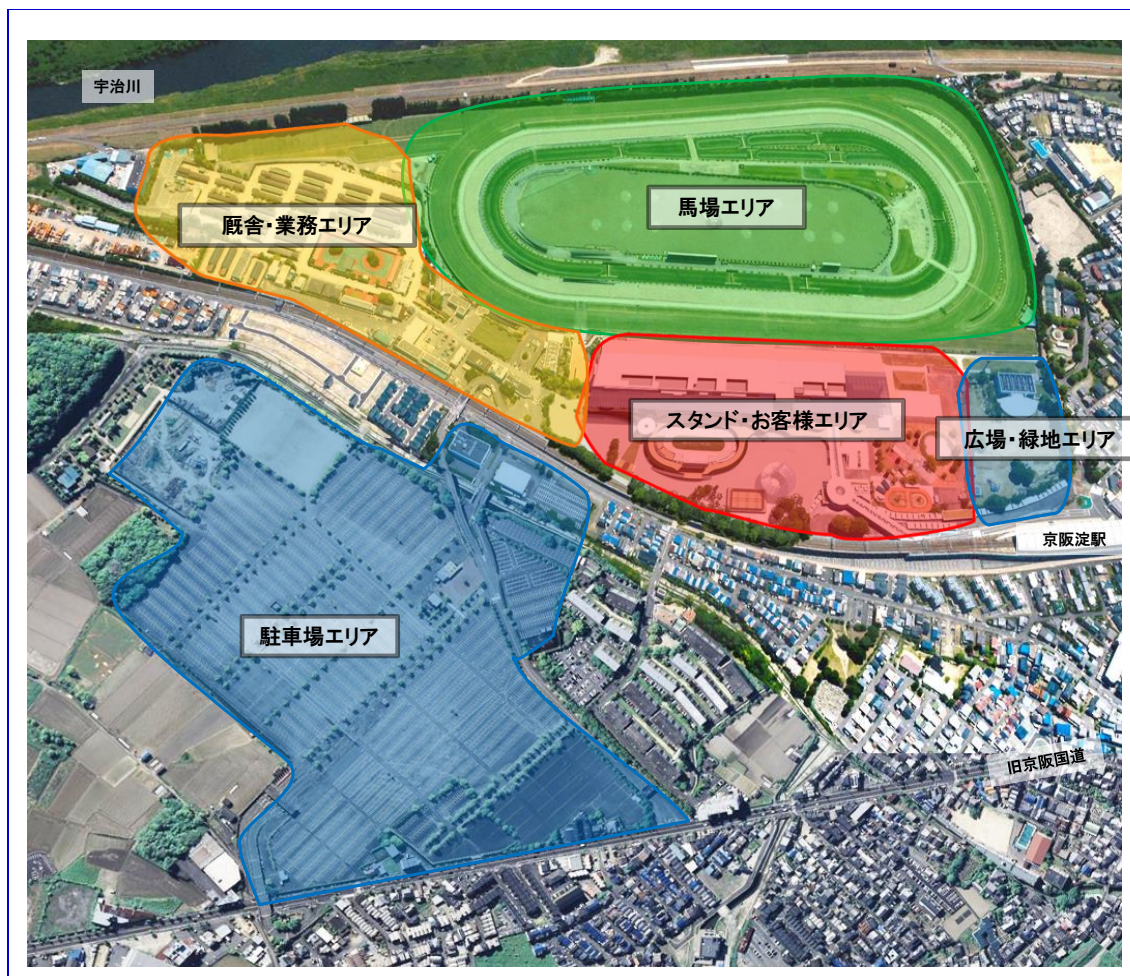
#### B 地区(駐車場エリア)

車で来場されるお客様のための駐車場として引き続き整備し、十分な駐車台数を確保することにより、近隣への迷惑駐車を抑制する。

緑化に努め地域環境の向上に寄与する。

京都市から指定を受けている広域避難場所としての機能を維持する。

## <土地利用・施設配置構想図>



### (2) 施設整備構想

- 京都市都市計画マスタープランにおける娯楽レクリエーション機能としての位置付けや、新景観政策の理念を踏まえた施設整備を基本とします。
- スタンドについては、公正な競馬の確実な実施、大勢のお客様が安全かつ快適に利用できる環境の確保を前提とした、適正な規模の施設を整備します。
- ライフサイクルコストの低減、建築物の長寿命化や省エネルギー機能の向上を図るとともに、水と緑を保全するなど、低炭素型の施設を目指します。

- ・ アクセシビリティの強化を図り、国内はもとより国際的スポーツエンターテインメント施設に相応しい施設の実現を目指します。
- ・ 同時に、京都競馬場の馬場（走路）並びに厩舎及び関連施設につきましても、老朽化が進んでいることから、この機に整備を実施する計画とします。
- ・ 記念すべき競馬場開設 100 周年を迎える 2025 年が始まるまでに、今回の事業完了を目指します。

棟別工事概要(面積は概数)				改築(または既存改修)工事				
建物名	主要用途	工事種別		構造・規模 または概要	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建物高さ (GL+)	
1	新グランドスワン	観覧場	改築	現況	S造/地上7階、地下1階	19,000	65,000	34.0m
				計画案	S造/地上6階、地下1階	23,000	57,000	34.0m
2	ビッグスワン	観覧場	改修	現況	S・SRC造 /地上7階、地下1階	-	52,000	34.0m
				計画案			51,000	
3	エネルギーセンター	機械室	改築	現況	RC造/地上1階	1,000	1,000	3.8m
				計画案	RC造/地上1階、地下1階	1,300	1,500	11.0m
4	シンザンゲート	入場門	改築	現況	RC造 平屋	760	320	6.2m
				計画案	S造/平屋	1,100	180	7.4m
5	歩道上屋 (2棟合計)	通路	改築	現況	S造/平屋	1,800	550	3.1m
				計画案	S造/平屋	2,000	2,000	3.5m

\* 計画案につきましては、これまでと同様の施設機能を同規模程度で更新していくように現在構想中であり、確定したものではありません。

<整備イメージパース>

